

令和4年度 藤崎台保育園 事業計画書

1. 保育の運営

4年度は昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を模索しながらの保育になっていき休園になった場合、早め早めの対処を心がけていきます。昨年度第三者評価を受審し現段階（3月12日）で結果がでていないのですがでたらお知らせします。

保育園としましても昨年度から行事などの見直しを行い、保護者からの意見をいただき検討していきます。保育の内容に関しましても引き続き、養護・教育の面で変化していることから職員が、1人ひとりの「子どもの理解」の視点から、職員全体で子どものことを共有できるように園内研修を毎月行うことで理解を深めています。「保育の質の向上」といわれ続けている中で、少子化に伴う定員割れを避けるため、今の状況に満足することなく、中長期計画委員を設置し計画を進めていく。子どもたちに対しても「保育園が楽しい」、「藤崎台保育園にいきたい」と、思ってもらえる保育を目指し、これからも研修を重ね「地域に根差した保育園」作りを職員一同で頑張っていきます。

ICT化も補助金で導入可能となり、園児の登降園管理と職員の業務軽減していけるようにする。

(1) 所在地 熊本市中央区古京町3-5

(2) 定員 実数3月現在

0歳児…8名	1歳児…13名	2歳児…13名
3歳児…13名	4歳児…12名	5歳児…13名
合計72名		

(3) 職員数 20名（園長・主任・主任参事・副主任・保育士（10名）・看護師・事務・管理栄養士（2名）・調理師・子育て支援員）

(4) 保育時間	基本開所時間	延長保育児時間
標準時間		
月～金曜日	7:00～18:00	18:00～19:00
土曜日	7:30～18:00	
短時間保育		
月～金曜日	9:00～17:00	17:00～19:00
土曜日	9:00～17:00	

2. 基本理念

- ・一人一人の子どもが元気な体と心が育まれる保育園。
- ・個人の成長と集団としての活動の充実を図る。
- ・保護者と地域、職員で協力しながら、信頼される保育園を目指す。

3. 保育方針
- ・子どもの生活・情緒の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重する。
 - ・子どもを温かく見守り、愛情豊かに、応答的に関わっていく。
 - ・人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにする。
 - ・家族の愛情に気付き、家族を大切にしようとする気持ちが育つようにする。

4. 保育目標
- ・自分の気持ちを伝え、相手の話も聞ける。
 - ・保育園での決まりを知り約束が守れる。
 - ・興味のあることや経験することを楽しむ。
 - ・生命を大切にする気持ち、公共心、探究心などを養う。
 - ・食の大切さを知り興味関心をもつ。
 - ・異年齢児との関わりを通して、生きる力を育む。

5. 保育内容

乳幼児期

- ・健やかに伸び伸びと育つ
- ・身近な人と気持ちが通じ合う
- ・身近なものとの関わり感性が育つ
- ＊個々の子どもたちの発達の連続性を丁寧に保障していくこと。
- ＊情緒の安定を1番に考えを保育

3才以上児

保育の「ねらい」及び「内容」について

- ・心身の健康に関する領域・・・ 『健康』
- ・人との関わりに関する領域・・・ 『人間関係』
- ・身近な環境との関わりに関する領域・・・ 『環境』
- ・言葉の獲得に関する領域・・・ 『言葉』
- ・感性と表現に関する領域・・・ 『表現』

上記を踏まえ各クラスで年齢に応じた活動を行う。

『健康』

- ・戸外遊びを多く取り入れ、体力を付けていく。
- ・食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。
- ・生活のリズムを身に付ける。
- ・生活に必要な活動を自分でする。
- ・見通しを持って行動する。

『人間関係』

- ・自分でできる事はじぶんです。
- ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- ・友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・よいこと、悪い事に気付き行動する。
- ・思いやりを持つ。
- ・生活する中での決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・高齢者をはじめ地域の人々に親しみを持つ。

『環境』

- ・自然に触れて生活し変化に気付く。
- ・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- ・身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。
- ・生命の尊さに気付き、労り、大切にす。
- ・身近なものを大切にす。
- ・日常生活の中で数量・図形・標識・文字に関心をもつ。

『言葉』

- ・自分なりの言葉でしてほしこと、したいことを表現する。
- ・ひとの話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
- ・親しみをもって日常の挨拶をする。
- ・絵本や物語などに興味を持ち、想像をする楽しさを味わう。
- ・文字などで伝える楽しさを味わう。

『表現』

- ・生活の中で5感（視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚）を楽しむ。
- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- ・感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- ・いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。
- ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。

これ以外に本園独自の『運動』・『うた』を取り入れている。運動遊びについては文部科学省の「幼児期運動指針」に、毎日60分以上体を動かすこと大切と記載されていることも併せ計画をしていく。

『運動』

- ・体の動かし方・コントロールする力を育む。
- ・瞬発力や柔軟性など身体能力を高める。
- ・運動の楽しさや喜び、意欲を高める。
- ・友達と遊ぶことで協調性や社会性を培う。

『うた』

- ・創造力や表現力を育むことに繋げていく。
- ・音を体で表現していく。
- ・曲のジャンルにこだわらず耳からの経験として親しむ。
- ・季節の歌を知る、歌う。

*各クラス年間計画を作成月間計画⇒週案⇒日誌⇒個別を記入する。

*年間行事計画（別紙参照Ⅰ）

6. 保健関係

- ・健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的・継続的に、また、必要に応じて随時、把握する。
- ・登園及び保育中を通じて子どもの状態を観察し、疾病が疑われる状態や傷害が認められた場合、看護師の専門性を生かした対応を図り保護者に連絡する。
- ・不適切な養育の兆候が見られる場合には適切な対応を図る。虐待が疑われる場合は児童相談所に通告、適切な対応を図る。

健診

内科健診 年2回（4月、10月） 嘱託医いえむらクリニック

歯科検診 年1回（6月） 松岡歯科医院

身体測定 毎月 胸囲（5月、9月、1月）

頭囲（5月、10月、11月）0歳児のみ

職員健診 年1回

職員検便 調理従事者のみ毎月。ノロウイルス検便（10月～3月）

- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実（事故・けがの記録等への記入）

*保健計画案 保健日より（隔月）

7、防災、防犯、安全管理

- ・定期的に避難訓練を実施する。（火災・地震・竜巻・不審者）
- ・防災備蓄品の点検と充実。
- ・交通安全教室の実施・交通安全訓練を伴う散歩。
- ・遊具・固定遊具の点検（毎週土曜日）
- ・緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等に関するマニュアルを作成する。
- ・ヒヤリハット報告書
- ・事故防止委員会発足（内閣府より）

8、保育実習（養成校）、ナイストライ（中学生）、インターンシップ（高校生）

- ・養成校と連携の下、受け入れる。
- ・中高生の希望があれば受け入れる。
- ・中学校での職業講話

9、職員のキャリアパス等の研修計画

- ・園内研修を計画的に行う。
- ・保育士等キャリアパスに係る研修計画の構築を行い受講する。
ほぼキャリアアップ研修を分野別で受講できています。
- ・毎日昼に行う連絡会議、月1職員会議・月3回園内研修

*研修計画案（別紙参照Ⅱ）

10、家庭連絡

- ・個別の連絡帳（未満児）
- ・園だより、クラスだより（月1回全員配布）
- ・給食だより、献立表（月1回世帯配布）
- ・保健だより（隔月）
- ・その他（掲示板等で保育活動の見える化）

11、給食

- ・栄養士が献立を作成し、バランスのとれた栄養メニューの提供を図る
また、手作りおやつも多く実施する。
- ・アレルギーのある園児については、保護者に医師の確認書を提出してもらい
代替え食等の準備をする。
0か100%の提供にしている。
- ・アレルギーのある園児の誤飲誤食を防ぐため、食器の色を分けて提供する。
- ・食中毒等の発生予防に、調理する際には衛生面に配慮し、食材も厳選し、
安全を期す。
- ・「前歯がぶり」ができるような献立を週3回を取り入れていく。
- ・献立会議をすることで、作る人の思いと食べる側の様子を話し合う。
- ・食育年間計画に基づき進めていく。（別紙参照Ⅲ）

12、活動内容

- ・英語教室（3歳児、4歳児、5歳児）月2回
- ・文字の練習（年長児のみ）
- ・散歩（クラス別、異年齢等）週2回

- ・~~クッキング（1歳児、2歳児、3歳児、4歳児、5歳児）月1回~~
- ・~~地域交流会（3歳児、4歳児、5歳児、なでしこ園）年2回~~
- ・誕生会（全クラス、誕生者の保護者）毎月1回
- ・毎朝体操（冬：マラソン）
- ・保育参観クラスごと年一回（土曜日に行う）
- ・いけばな教室（年長児のみ、2か月に1回）
- ・異年齢交流

1 3、小学校との連携

- ・資質・能力と心情・意欲・態度・の視点で幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を元にした接続のカリキュラムを作成する。

ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え
 オ 社会生活とのかかわり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重
 ク 数量や図形、文字等への関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い
 コ 豊かな感性と表現

- ・小学校（一新・城西等就学先となる学校）を訪問し交流する。
- ・幼保小中連携協議会
- ・保育園から就学先となる小学校へ『保育所児童要録』を作成し送付する。
 令和2年度より児童要録様式の変更があり会議を開いた。
- ・関係機関との連携（ウエルパル、中央児童発達支援ルーム）

1 4、職員及び担当、

園長：八高 雪枝
 主任保育士：白柿 清子
 副主任保育士：江口 弥穂

ぞう組（5歳児）：2名 きりん組（4歳児）：1名 くま組（3歳児）：1名
 たぬき組（2歳児）：3名 うさぎ組（1歳児）：3名 りす組（0歳児）：3名

保育士：鶴田正美・柳原沙織・上村希・宮原智子・前野朋子・渡邊智奈美
 西村香里・野田芙由絵・古嶋晏菜
 （育児休業）：池田あゆみ・古閑聖良

看護師：宮村 美佐

事務：福田 宏美

栄養士：久峯なつ美・三代ちあき（育休）

調理師：亀井 望美

子育て支援員：成田 奈々

15、中長期計画委員及び内容

○地域委員会・・・白柿清子、上村希、渡邊智奈美

- ・地域の交流会に参加することで保育園の存在を知っていただく。また地域の方と子ども、地域の方と職員の関わりを広げていく。

○図書委員会・・・江口弥穂、西村香里、前野朋子

- ・保育園の絵本の貸し出しを6月から始めるにあたり委員会で話し合い実行していく。

○事故防止委員会・・・柳原沙織、鶴田正美、野田芙由絵、亀井望美

- ・ヒヤリハット活動、事故発生時における対応、対策などを2か月に1度話し合いを行い事故についての解明をする。

○ホームページ・・・鶴田正美、野田芙由絵、古嶋晏菜

- ・ホームページについてどのような内容なものにするのかを話し合う。

○ICT・・・福田宏美、久峯なつ美

- ・今年度からのICT化に伴う内容を把握し説明する。

令和4年度 年間行事予定

別紙参照 I

4月	入園・対面式 誕生会 芋の苗植え
5月	誕生会 親子おみしり遠足
6月	年中児保育参観 ピクニックの日 誕生会 歯科検診
7月	年少児保育参観 ピクニックの日 誕生会
8月	2歳児保育参観 ピクニックの日 誕生会
9月	運動会（3，4，5歳児） 誕生会
10月	ふじっこ祭り 1歳児保育参観 芋ほり遠足
11月	0歳児保育参観 ピクニックの日 消防署見学（年長児）
12月	クリスマス会 ピクニックの日 誕生会 生活発表会（3，4，5歳児）
1月	ピクニックの日 誕生会
2月	ピクニックの日 誕生会 豆まき会 年長児保育参観
3月	ピクニックの日 誕生会 ひな祭り会 卒園旅行 卒園式

令和4年度 会議・研修計画

別紙参照Ⅱ

日程	会議等の種別	職員会議	園内研修
3月	新年度会議	職務分担・行事担当	個人目標
	環境会議	各クラスの環境	献立会議
		子どもの振り返り	
4月	定例会議	運動会の内容決定	献立会議
	新年度会議	中長期計画委員会	
5月	定例会議	保育参観内容	献立会議
	定例会議	事故防止委員会	ICT活用について
6月	定例会議	お泊り保育について	献立会議
	定例会議	各クラスの状況	自己評価シート
	定例会議	中長期計画委員会	保護者との連携について
7月	定例会議	運動会について	個人目標
		事故防止委員会	献立会議
8月	定例会議	中長期計画委員会	献立会議
9月	定例会議	発表会について	献立会議
		事故防止委員会	
10月	定例会議	各クラスの状況	献立会議
11月	定例会議	中長期計画委員会	自己評価
			献立会議
12月	保育改善検討会議	事故防止委員会	献立会議
		気になる児について	自己評価シート
1月	定例会議	中長期計画委員会	行事の振りかえり
		次年度計画 卒園式	献立会議
2月		次年度計画	献立会議
3月	保育改善検討会議	事故防止委員会	献立会議
		環境設定 入園式について	